

## (11) 函館(臼尻)地域

指定基準	講 評	該当状況
イ .当該地域マリンビジョンが、地域のポテンシャルを活かすとともに個性ある計画となっていること。	函館(臼尻)地域は「コンブロードの源流、北海道漁業黎明の浜を次世代に継承する水産物流通拠点形成構想」をキャッチフレーズとして、白口浜マコンブの産地、大謀網発祥の地、漁港が北大臼尻実験所に隣接するという特性を活かし、漁業地域の活性化を目指した計画となっており、地域にとって価値あるビジョンとなっている。	
ロ .当該地域マリンビジョンが、独創性、先駆性、広域性のいずれかが認められるとともに、他地域モデルとして見込め、北海道マリンビジョン 21 の具現化に資する計画となっていること。	<p>ビジョンは地域にとって有益なものとなっており、大学と連携した体験学習や養殖コンブの IT を活用した販路拡大、北海道初のガニアシのリサイクル処理については評価できるものの、検討開始段階となっている。また、コンブロードの源流を活かしたビジョンであるならば、近隣地域との連携も重要である。</p> <p>今後は、広域的な連携を考慮しつつ、臼尻地区の特徴であるコンブ漁業の特長を最大限に活かした取組みを期待したい。</p>	
ハ .当該地域マリンビジョンが、地域協議会の十分な議論・調整を踏まえた計画であること。また、地域マリンビジョン策定後であっても、適宜地域協議会において当該地域マリンビジョンの円滑な推進を図る計画となっていること。	町民や大学等との意見交換を含め、多様な参加者による十分な議論がなされた計画であると評価できる。	
ニ .当該地域マリンビジョンに位置付けられている拠点漁港が、北海道マリンビジョン 21 の趣旨に鑑み、計画において拠点漁港のいずれかに該当すること。	拠点となる臼尻漁港は、人工地盤や親水施設が整備されており、地域マリンビジョンの一助と期待されるほか、継続的なビジョン実現に向けた取組みによって漁港の効用が最大限発揮されるものと考えられる。	
ホ .地域マリンビジョンの実現に向けた取組み内容が各実行主体ごとに明確になっているほか、それらの取組みが地域において継続的に行われる等、地域マリンビジョン及び取組み主体の熟度が認められること。	<p>ビジョンの取組みについては、推進協議会が構築され、IT を活用した販路拡大についても実行段階にあり、ビジョンの熟度は認められる。</p> <p>今後は、フォローアップを通じて、具体化への取組みを推進するとともに、近隣地域との連携を期待したい。</p>	